

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第7号

校訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校 令和3年10月1日(金)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『主権者』

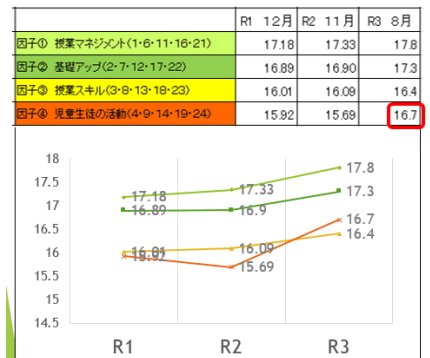
校長 小熊 誠

通常授業とオンライン授業によるハイブリッド授業という当たり前ではない形で始まった2学期。生徒たちは、先の見えない苛立ち、仲間と直接顔を合わせられないもどかしさ、通信環境の不具合等、沢山の不安を抱えてのスタートとなりました。しかも、追い打ちをかけるように新人戦中止の決定。保護者・地域の皆様にも多くの御心配をおかけしていることと思います。しかし、そんな中でも私たちの大原の生徒たちは、今できることに精一杯打ち込み、輝きを放っています。9月6日には、「大原前進プロジェクト」のメンバーが、オンライン生配信で市議会の様子を視聴しました。2年生は、書面によるインタビュー形式に変えて「未来くるワーク」を実施しました。そして、22日には、昨年度から取り組んできた「主権者教育」の研究発表会を、さいたま市初の試みとして、参加者を限定して直接授業を見ていただく対面方式と、オンラインでの授業生配信という2つを同時に行うハイブリッド形式で実施いたしました。細田教育長を始め、指導者の皆様、関係各校の校長先生方、本校のコミュニティスクール準備委員の皆様等をお迎えし、学校の主役、すなわち主権者である生徒たちが、毎日希望をもって登校し、笑顔で活動し、満足して下校する、生徒の、生徒による、生徒のための学校を実現させていくための取組を発表しました。大原が、さらに前に進んでいくために、何が必要で、今何ができるのかを、生徒一人ひとりが、自分事として捉え、本気で考え、行動していく、そのど真ん中にある「大原前進プロジェクト」の話し合いの様子と、その直接体験の場として全教職員で取り組んでいる「話し合い」を真ん中においた授業5つを公開しました。教育長からは、「まさにこれからの未来を創っていく主権者を育てていくど真ん中にある実践だ」と最大限のお褒めの言葉をいただき、6名の指導者の皆様からも過分なお褒めの言葉をいただきました。しかし、大原の前進は、まだ始まったばかりです。22日の話し合いの最後は、部活動代表の生徒による「大原中 前へ!」という言葉でした。彼らは、大原は、必ずさらに前に進みます。そして、世の中の縮図である学校で身に付けた主権者の意識を、地域へ、そして日本へ世界へと広げていってくれるはず。それには、生徒たちの学校を飛び出した新たな活動の場が必要です。どうぞ保護者・地域の皆様の御理解と御協力をお願いします。そしてそれが、日本の国の主役である私たち国民が、国民主権をしっかりと自覚する第一歩になるはずだと確信しています。右に今回の研究のうち特に大きな成果を出した3つを掲載します。

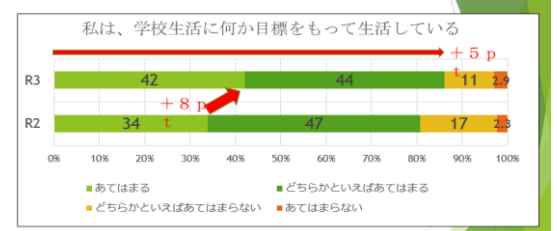
最後に、本年度は2年ぶりに駅伝が実施できることになりました。25日から学校選抜30名の代表が練習を始めました。大会は10月26日(火)、駒場スタジアムです。彼らの活躍にも御期待ください。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校

成果と課題①「よい授業アンケート」



成果と課題②「学校評価アンケート(生徒)」



成果と課題③「心と生活のアンケート」
(人間関係プログラムに係る調査)

